

平成28年度 沖縄県振興審議会

第4回 総合部会

日時：平成29年1月20日(金) 10:00～12:00

場所：八汐荘 1階 屋良ホール

**議題【第1章「基本方向」】**

○「1 計画策定の意義」について、「広大な米軍の基地軽減、離島の振興、公共交通の抜本的改善など沖縄固有の課題も解決が図られなければなりません。」の後に続いて、「また、大規模な自然災害に備えた社会資本の強化と島嶼県であることを勘案した防災対策を通じて県土強靱化を図ることも重要である。」と付け加えて欲しい。

**議題【第2章「基本方向」】**

○「3 施策展開の基軸的な考え」について、構成をもう少し分かりやすくしてもよいのではないかな。

○「MICE」について、語句の説明があってもよいのではないかな。

**議題【第3章「基本施策」】**

○課題がまだ残っている部分について、今までの方針をそのまま続けて残すのか、注力する取組があるのか、そういったところを記載してもよいのではないかな。

○「有人国境離島」、「我が国の公益貢献」、「条件不利性」など、言葉を整理してもよいのではないかな。

○人口減少について、もう少し詳細な分析や、トーンを強調してもよいのではないかな。

**議題【2-(5)-イ 戦後処理問題の解決】**

○所有者不明土地問題について、現状どうなっているのか。国有財産化の問題もあり、その点についても確認したい。

**議題【3-(14) 政策金融の活用】**

○政策金融について、県としては存続させたいという意向があると思うが、その辺の記述

はどうなっているのか。

- 政策金融について、地域の民間金融機関に対する影響があれば、いろいろなところに関わっていくという記載はあまりなくてもよいのではないか。「民間金融と協調しながら」との表現とバランスを考える必要があるのではないか。

#### **議題【2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化】**

- 消防防災体制強化について、防災体制を強化するには広域化は避けて通れないと思うが、どうなってるのか。
- 津波への防災の観点から、駐留軍用地跡地、空港、港湾などの利用も考慮する必要がある。また、やんばる地域の東海岸地域についても、特殊な対策を考えないといけないのではないか。
- 沖縄ではなぜ消防団員の数が伸びないのか。その原因と対策はあるのか。
- 島嶼性にかかる防災対策について、記述が乏しいのではないか。

#### **議題【第6章「計画の効果的な実現」】**

- 「歳入に見合った歳出規模への転換を図るなど」の「転換」とはどのような内容か。
- 「引き続き県債の新規発行額の抑制や」について、沖縄県は他都道府県と比べて県債の発行が多いわけではない。県債の新規発行額の抑制をあえて挙げられているのはどうしてなのか。
- 「県事業と市町村事業の重複について、重複している部分の整理をするというような記述（「市町村と連携を図りつつ」等。）があってもよいのではないか。
- 「(2) 計画の進捗管理等」について、「点検・評価を全庁的に行い」を「全庁的にかつ効率的に」としてはどうか。

#### **その他**

- 観光について、観光客が病気になった時や事故に遭遇した場合、災害時など、どのように対処するかという点について検討する必要があるのではないか。
- 今後、沖縄県が高齢化社会をむかえるにあたって、どういう基本的なスタンスで臨むのかを記載してはどうか。中南部や離島、医療、介護などを意識して記載してもよいのではないか。

○子どもの貧困対策について、「子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることのないよう」を「子どもの将来がその生まれ育った家庭や地域によって左右されないような子どもが育つ環境をつくる」としてはどうか。

○社会インフラの老朽化対策について、今後沖縄県としてどう維持、更新していくのかをもう少し意識して記載してもよいのではないか。

○公営住宅について、人口減少が進んでいく中で、公営住宅の設置だけでなく、民間賃貸住宅の借り上げなども含めて検討する必要があるのではないか。

以上